

2月県議会定例会開会

吉村知事 新年度予算提案

子ども医療費、私学助成、少人数学級、経済対策など 県民に温かい県政へ第一歩

共産党と合意した政策を一部盛り込む

2月20日、新年度予算案などを審議する県議会定例会が開会し、吉村美栄子知事が初の所信表明と議案提案を行いました。知事選において日本共産党は基本的姿勢と政策の一致で支援しましたが、新年度予算(案)に、それらが一定盛り込まれています(別項参照)。

また、知事の退職金を廃止する条例改正案も提案され、副知事の定数を1人にする方向で検討していることが表明されました。知事は所信表明の中で、県政運営の基本的考え方として「私はいま、こうした厳しい時代だからこそ、ここで暮らし続けたいという県民の願いを何よりも大切に、県民の生命と生活を守ることを最



2009年3月1日 第59号

発行 日本共産党県議会議員 渡辺ゆり子

〈連絡先〉 日本共産党県議団執務室 電話 023-630-3241 自宅:山形市青田2-10-5 電話 023-642-2365

県民の暮らし支える政策

新年度予算(案)より一部抜粋

子どもの医療費助成

就学前までとした対象年齢を、入院については12歳までに拡大

私学助成充実

私立高校一般補助金の補助率を43%から44%へ引き上げる

少人数学級拡大

現行中学1年までを中3まで広げる方向で、当面、中2の8校に導入

景気・雇用対策

今年度分と合わせて農林水産業振興、福祉、教育、防災にかかわる事業や企業の資金繰り対策、基金活用も含めた雇用創出1万人プランを打ち出した(17日、緊急雇用対策本部会議)

優先に、県民が真に必要なとする政策を県民の手元にきちんと届けて参ります」と述べました。「当面する最も重要な課題は、景気・雇用対策」と位置づけ、今後の施策の方向としては、「産業」「農業」「医療・福祉」「子育て」「教育」の4つの分野において重点的に取り組むとしていきます。

また、「心の通う温かい県政」「活力あふれる山形」を実現するため、対話を重ね、現場を重視する県政を進めていくことを表明します。

これから県政におおに関心を持つと同時に、様々な形で参加していただきたいと思えます。



共産党県委員会へあいさつに訪れ懇談する吉村氏(右端)と党県議員、ゆり子県議(左から2人目)、「明るい会」の人たち=1月29日、山形市、党県委員会事務所

ゆり子の視点

ある業者の方から、事務所あてに手紙をいただきました。

している様子が書かれていました。

携帯電話の番号が記されていたので何回か電話したのですが、つながりません。詳しい住所がありませんでしたが、心配

日本共産党のネットワーク

調に返済を続けてきたが、近年は売上減で厳しい状況という内容です。

子ども4人の教育費の負担が重く、食費も切り詰め、暖房を節約し、アラックを着込んで過ごす

「貸付金の返済期間を延期してもなお困難な実態を知ってもらいたかった」

金融資制度を利用し、順調に返済を続けてきたが、近年は売上減で厳しい状況という内容です。

「貸付金の返済期間を延期してもなお困難な実態を知ってもらいたかった」



吉村知事が公約し、日本共産党と政策合意した内容が予算案に盛り込まれた点については評価するものです。

今回は、知事選直後の「骨格予算」(一般会計当初予算5589億1300万円)であり、6月議会での肉付けの修正予算が提案される見込みです。今後も一致した政策が前進するよう力を尽くします。

今後の課題としては、県政や市町村だけで解決できない問題、たとえば後期高齢者医療制度の廃止

一致した政策の前進とさらなる展開をめざします 日本共産党県議団

や労働者派遣法改正など、国政についても県民の声を代弁する県政が求められていると考えています。日本共産党県議団は、一致した政策の前進と、一致しない点については指摘し、議論や協議を重ねていくことをめざし、是々非々の態度で、引き続き議会のチエック機能の役割を果たしていく考えです。合わせて、多くの分野で県民運動の力の発揮が期待されています。私たち自身も、議会内外での活動展開を大きくしていきたいと思えます。